

研究課題名	Abdominal Sepsis("AbSeS") study:Epidemiology of Etiology and Outcome
研究機関名	日本においては亀田総合病院、武蔵野赤十字病院。ほか国際的に最大150施設の参加を見込んでいる。
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 岸原 悠貴
研究期間	平成28年 5月 ～ 平成28年 10月
研究の意義・目的	このプロジェクトの目的は、重症患者における複雑性腹腔内感染症の観察研究を多国間で前方視的に行うことである。具体的には、研究計画書に述べる評価項目のデータを収集することにより、疫学とアウトカムを明らかにすることである。 この研究により疫学とアウトカムが明らかとなれば、例えば、有効であると考えられる治療法を比較検討する研究を施行できる可能性などが生じ、それは本研究を行う大きな意義であると考えられる。
研究の方法 (対象期間含む)	臨床研究倫理審査委員会承認後から症例登録を開始し、4-5ヶ月間継続する、多施設前向きコホート研究である。
個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む)	プライバシーの保護に関しては十分に配慮し、データの取り扱いは院内のPCのみで行う。データは研究ウェブサイトを通し、患者データは匿名化され登録される。ただし、各患者には番号を割り当て、記載する。患者番号と患者名を対応させたデコード表を作成し、院内のみPCに保存する。結果公表に際しては、研究の性質上データのみを記述するため、氏名などの個人情報が明らかになることはない。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 岸原 悠貴  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525